大麦管理特報 ～第６号～

令和３年５月２５日

黒東地域農業技術者協議会

大麦の出穂後の気温は平年並み～やや低めに推移しているため、成熟期間が長くなると予想されます。

刈取り前に「雑草種子の除去」及び「赤かび病などの発生状況の確認」を行いましょう。また、コンバインの清掃を徹底し、籾などの混入防止に努めてください。

１．雑草種子の混入防止

- カラスノエンドウの種子は、混入すると除去が困難です。

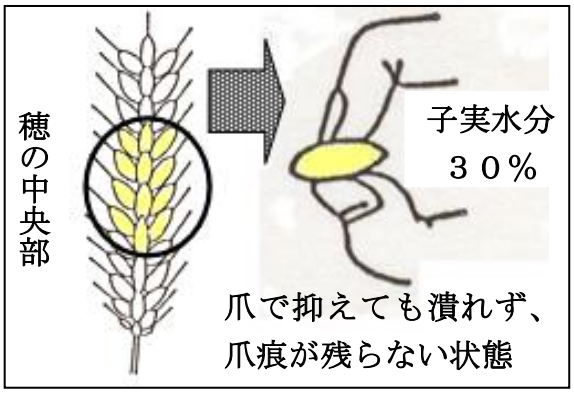
収穫前に
必ず抜き取りましょう

２．赤かび病などの被害粒の混入防止

- 赤かび粒、麦角粒の混入限度は、**「０．０％」**です。
- 被害粒が収穫物に混入しないよう、事前にほ場を確認してください。
- **赤かび病などの被害粒がある場合は**、地区担当の営農指導員に連絡いただくとともに、被害粒が健全粒に混ざらないよう収穫は別扱いしてください。

３．大麦の収穫時期の目安

- 大麦の収穫時期は、出穂期の早いところで**５月３１日頃**からと予想されます。
- 刈取りは、穂軸や茎、葉が完全に黄化し、**子実水分が３０％以下となった頃から開始**してください。



ＪＡみな穂営農センター　℡ 74-2440　　ＪＡみな穂あさひ支店経済課　℡ 83-3212
各地区担当営農指導員、　新川農林振興センター農業普及課　℡ 52-0094